T精巣腫瘍1

対象疾患	精巣腫瘍	レジメン名	BLM+ETP+CDDP療法（BEP療法）
1コースの期間（休薬期間含む）		21日	
総コース数	4コース		

Rp.	薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	生食100 mL（ルートキープ用）	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1~5、8、15
2	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1~5
3	アプレピタント125 mg（day 1）、 80 mg（day 2~3） ※ホスネツピタント未使用の場合	1 Cap	経口		day 1（125 mg）、day 2~3（80 mg）
4	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1~5
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			day 1
	ホスネツピタント235 mg ※アプレピタント未使用の場合	1 V			
5	ブレオマイシン（BLM）	30 mg/body	点滴静注	30分	day 1、8、15
	生食100 mL	1 P			
6	エトポシド（ETP）	100 mg/m^2	点滴静注	2時間	day 1~5
	生食500 mL	1 P			
7	シスプラチン（CDDP）	20 mg/m^2	点滴静注	60分	day 1~5
	生食250 mL	1 P			
8	20%マンニトール 300 mL	0.66 P	点滴静注	30分	day 1~5
9	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1~5
10	生食50 mL（フラッシュ用）	1 P	点滴静注	全開	day 8、15

血管外漏出リスク分類	BLM：炎症性　ETP：炎症性　CDDP：炎症性
催吐性リスク分類	レジメン全体：高度（BLM：最小度　ETP：軽度　CDDP：高度）
インラインフィルターの要不要	ETP投与のため、インラインフィルターは使用禁止
備考欄	※NK_1受容体拮抗薬は、ホスネツピタント235 mg/dayをday 1またはアプレピタント125 mg/day（day 1、抗がん剤投与開始1時間~1時間30分前）、80 mg/day（day 2~3、午前中）のいずれかを投与する。 ※当レジメンは、BLMをday 2、9、16に投与するという方法もあるが、当院ではday 1、8、15に投与する方法を採用している。 ※CDDP総投与量500 mg/m^{2}を超える場合は蓄積性の神経毒性注意。